

令和5年4月 教育委員会定例会会議録

令和5年4月27日(木)

午後1時30分～午後2時34分

あわら市役所 議会委員会室

(会議日程)

- 1 開会
- 2 教育長挨拶
- 3 会議録の承認
- 4 会議録署名員の指名
- 5 教育長報告
- 6 3～4月教育委員会行事報告
- 7 議案
 - 第10号 臨時に代理した事務の承認を求めることについて
(附属機関委員の委嘱又は任命について)
 - 第11号 臨時に代理した事務の承認を求めることについて
(あわら市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について)
 - 第12号 令和5年度福井県義務教育諸学校教科用図書採択坂井地区協議会の設置について
- 8 報告事項
 - (1) 令和5年度児童・生徒数について
 - (2) 教育委員会 各課事務分掌について
 - (3) 令和5年度指導主事訪問計画について
 - (4) 学校給食における異物混入対応マニュアルについて
 - (5) 第20回トリムマラソンについて
 - (6) 全国大会出場選手について
 - (7) アートドキュメント2023井口雄介展について
 - (8) 2023金津創作の森 森のアートフェスタについて
 - (9) 4～5月教育委員会行事予定について
 - (10) その他
- 9 その他
- 10 閉会

出席者

教育長	甲 斐 和 浩
委員	玉 川 洋 一
	宮 川 千 乃
	坂 野 靖 子
	坂 井 優

事務局(説明者)

教育部長	岡 田 晃 昌	教育総務課長	江 川 欣 男
文化学習課長	早 見 孝 枝	スポーツ課長	近 馬 重 朋
教育総務課教育審議監	常 廣 一 頼	給食センター所長	西 出 茂 隆
文化学習課長補佐	西 正 真 琴	スポーツ課長補佐	上 木 大 輔
中央公民館館長補佐	山 本 昌 明	郷土歴史資料館副館長	九 千 房 英 之
教育総務課主任	高 橋 絵 里 子		

【開 会】

甲斐教育長 ～開会あいさつ～

【会議録の承認】

甲斐教育長 まず、「会議録の承認」をお願いしたいと思います。3月定例会会議録について、委員の皆様のご意見をお願いします。

甲斐教育長 特に無いようですので、3月定例会会議録は承認といたします。

【会議録署名員の指名】

甲斐教育長 今月の「会議録署名員の指名」は、あわら市教育委員会会議規則第14条の規定により、宮川委員をお願いしたいと思います。

宮川委員 はい。

甲斐教育長 よろしくお願いします。

【教育長報告】

甲斐教育長 日程第5「教育長報告」を申し上げます。

4月11日に第1回の市町教育長会議がございました。オンライン開催ということで、昨年度は2回対面での開催がありましたので、今年度もオンラインと対面をうまく組み合わせながら会議を進めていくのだろうなと思っております。会議の内容につきましては、県の本年度の施策についての説明が中心でした。例えば、タブレット端末の活用モデル事業について、このことにつきましては、今年度は芦原小学校が対象になっているということをお聞きしています。それから、ふるさと福井の魅力プレゼンテーション大会。これは昨年度もあったのですが、今年度は中学校の部も加えたということです。各学校でこれに向けての準備を進めているところだと思います。続きまして、2番、3月30日に教職員の離任式がございました。芦原小学校の中嶋校長先生をはじめとして、24名の教職員の方の離任式が行われました。続きまして、4月3日月曜日、今度は新しい方々の辞令交付式が8時から連続でございました。午後2時から、教職員の着任式がございまして、本荘小学校の林校長先生をはじめとして、全26名、新採用で言いますと8名の方の着任がありました。今少しずつ学校訪問をしているんですけども、それぞれの新しく来られた先生方は非常に元気で仕事をしているということを伺っております。それから4月3日、教職員の着任式の後ですけども、学校運営研究会、あわら市の校長会の第1回がございました。校長会には新任の校長の芦原小学校と伊井小学校の校長、それから転任の校長、本荘小学校の校長が加わりまして、第1回の校長会を行いました。今年度の市の行事等についての説明をしてご協力お願いするということでした。校長会につきましては、資料から抜けていますけれども、4月17日月曜日に第2回の校長会を9時から行っております。内容については、4月11日に行われました市町教育長会議のことについてが主ということになります。それから、4月4日ですけども、坂井地区の校長会がございました。坂井市役所であわら市、坂井市の校長が集まった第1回目の会議ということでございました。同じ日の4月4日ですけども、あわら市の議会の方で全員協議会が行われました。同じ日のほぼ同じ時刻ということですので、私は出席ができなかったんですけども、こ

の全員協議会では今年度の人事異動の概要について、あるいは、道の駅のことについて、あるいは、三丹本店の経緯についての説明がございました。続きまして、4月10日、坂井地区の教育長会がございました。これは年3回行っているあわら市と坂井市の教育長会でございますけれども、1年間の計画についての協議を行いました。合同教育委員会を5月12日金曜日に実施するということが決まりました。また委員の皆様にもご出席をお願いしたいと思います。それから、4月11日には坂井地区教育振興 研究会総会が行われました。これは、あわら市、坂井市の全ての小中学校の教職員の総会ということで、以前は一堂に会しての総会でしたけれども、今年度もオンラインで総会がございました。以上が3月の終わりから4月26日までの教育長報告です。

甲斐教育長 続きまして4月の教育委員会行事報告についてお願い致します。

岡田部長 ～資料2～3ページを説明～

甲斐教育長 教育長報告並びに教育委員会行事報告に対してご質問はございませんか。ありがとうございます。無いようですので教育長報告並びに教育委員会行事報告につきましては了承とします。

【付議事件】

甲斐教育長 次に日程7議案の審議に移りたいと思います。議案第10号臨時に代理した事務の承認を求めることについて（附属機関委員の委嘱又は任命について）についてお願いします。

江川課長 ～資料4～5ページ説明～

西出所長 ～資料6ページ説明～

早見課長 ～資料7～10ページ説明～

近馬課長 ～資料11ページ説明～

甲斐教育長 ただ今の議案につきまして、ご意見、ご質問はございませんか。

甲斐教育長 ないようですので、決を採りたいと思います。議案第10号臨時に代理した事務の承認を求めることについて（附属機関委員の委嘱又は任命について）について承認としてよろしいでしょうか。

(はい)

甲斐教育長 では、この件は承認とします。続きまして議案第11号臨時に代理した事務の承認を求めることについて（あわら市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について）についてお願いします。

江川課長 ～資料12～14ページ説明～

甲斐教育長 ただ今の説明について、ご意見、ご質問はございませんか。

甲斐教育長 よろしいでしょうか。では、決を採りたいと思います。議案第11号臨時に代理した事務の承認を求めることについて（あわら市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について）について承認してよろしいでしょうか。

(はい)

甲斐教育長 では、この議案は承認といたします。次に議案第12号令和5年度福井県義務教育諸学校教科用図書採択坂井地区協議会の設置についてお願いします。

江川課長 ～資料15～17ページ説明～

甲斐教育長 ただ今の議案につきまして、ご意見、ご質問はございませんか。

甲斐教育長 ないようですので、決を採りたいと思います。議案第12号令和5年度福井県義務教育諸学校教科用図書採択坂井地区協議会の設置について承認してよろしいでしょうか。(はい)

甲斐教育長 では、この議案は承認いたします。

【報告事項】

甲斐教育長 続きまして報告事項に移ります。(1) 令和5年度児童生徒数につきましてお願い致します

高橋主任 ～資料18ページ説明～

甲斐教育長 ただ今の件について、ご質問はございませんでしょうか。

宮川委員 説明のあった芦原小学校ともう一つの小学校の増減の理由や内訳は何でしょうか。

江川課長 芦原小学校の学年毎の増減を申し上げます。全体で18名減になっていますけども、人数的には一番大きく減になっている学年の特徴というのではなく、平均的にまんべんなく減っているのですが、1年生では今年は26人だったのが、去年は29人だったので3人の減です。2年生につきましては、去年37名おりましたので8名減になっています。3年生につきましては、去年43名おりましたので5名減です、4年生につきましては、去年と同数の43名でプラスマイナス0ということで、それと、5年生につきましては、去年37名で、去年からちょっと増えまして、37名から44名になりましたので、7名増となります。6年生につきましては、去年45名いましたので8名の減となっています。各学年の増減数の内訳はこのような内容でございまして、トータルしますと全体でマイナス18人という内容になっています。芦原小学校だけは、全体的には児童人数も多い学校でございまして、減少幅もちょっと大きく見えるということはございます。以上でございます。

宮川委員 これはただ単純に最近の日本の全国的な少子化という風に捉えるのがいいのか、もしくは、あわら市という地域性で何かそういった大幅な減少が起きたというのか、いろいろあると思うんですけれども、実際にはどこか違う県に転出されたとかそういう理由があるのか、主にどういった理由で減になってるんでしょうか。

江川課長 小学校ごとの人口分析はしていないのですが、やはり人口減少については、あわら市におきましては他の市と同様に減少傾向に歯止めが効かなくてですね、小学校では、平成30年度の時、5年前では1302名だったのが、本年度は全体で1205名ということで、中学校におきましては、平成30年度で691名いたんですけども、資料にある通り、中学校では612名になっています。このようにずっと右肩下がりで人口減少してきて、学校ごとで、特筆して下がってるというものではないと思います。なお、今後5年の令和11年までの出生率で入学してくる生徒の数を見ましても、やはり出生率の低下とともに小学校新1年生の数も今後5年間同じように減少していくという傾向にございます。お手元に資料をお渡しすることができないんですけれども、そのような人数の状況になってございます。あわら市といたしましても、少子化対策といった対策につきましては、本年度庁内にプロジェクトチームを立ち上げまして、西正補佐もそうなんですけれども部署横断的にこの問題について検討対応をしていくということも行っておりますので、報道にもあります通り、なかなかすぐに即効性があるものではありませんが、現状分析はきちんとしていきたいなと考えております。以上です。

宮川委員 今度は中学校なんですけれども、この中学校の人数というのは、芦原中学校、金津中学校に錦城中学校も入ってくるのですか。

江川課長 中学校の表の見方ですけども、芦原中学校 金津中学校の実際の生徒数です。錦城中学校は芦原中学校、金津中学校の数には含まれておりませんので、その下の段に外出しであるのが、錦城中に通っている生徒数の実数ということでご覧になっていただきたいなと思います。

宮川委員 はい、そうすると、これはあくまでも芦原中学校、金津中学校に通う生徒の実数ですね。実際の人口数はまた違ってきますよね。例えば、最近福井中学校ですとか市外の中学校に進学される生徒さんもいらっしゃるのです。

江川課長 錦城中、錦城小学校以外のところに児童生徒が通っている数ですけども、令和5年度現在ですけども、嶺北特別支援学校に7人。芦原地区で3人、金津地区で4人、合計7人の方が嶺北特別支援学校に通っています。学年毎の細かい数字は割愛させていただきます。県立福井特別支援学校にも3人通っています。芦原地区1人、金津地区で2人が通っています。合計10名ですね。10名の方が小学校、中学校の部に特別支援学校に通っていき、この他に他市の小学校に通っている方も何人かおられますので、ちょっと手持ちに数字がありませんけれども、あわら市民の方で特別支援学校以外の管外の学校に通っている方が、だいたい例年と同じ数くらいの生徒さんがいらっしゃいます。あわら市が設置した学校毎の数は、あわら市に実際通ってる生徒の実数でございますので、若干人口の統計とは変わってくると思います。

甲斐教育長 それでは、続きまして（2）教育委員会事務分掌についてお願いいたします。

高橋主任 ～資料19～30ページ説明～

甲斐教育長 ただ今の説明についてご質問はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、（3）令和5年度指導主事訪問計画についてお願いします。

江川課長 ～資料31ページ説明～

甲斐教育長 ただ今の説明についてご質問はありませんか。昨年度と同様に、今年度も坂井市の訪問もさせていただけたらと思いますので、また日程調整をさせていただきたいと思っております。それでは（4）学校給食における異物混入対応マニュアルについてお願いいたします。

西出所長 ～別紙資料を基に説明～

甲斐教育長 ただ今の説明についてご質問はありませんか。よろしいでしょうか。それでは（5）第20回トリムマラソンについてお願いします。

上木補佐 ～資料32ページ説明～

甲斐教育長 ただいまの説明につきましてご質問はございませんか。それでは、当日どうぞよろしくお願いいたします。続きまして（6）全国大会等出場選手についてお願いします。

上木補佐 ～資料33ページ説明～

甲斐教育長 ただいまの説明につきましてご質問等はございませんか。それでは、続きまして（7）アートドキュメント2023井口雄介展についてお願いします。

西正補佐 ～別紙チラシを基に説明～

西正補佐 ～関連があるため引き続き、（8）2023金津創作の森 森のアートフェスタについて別紙チラシを基に説明～

甲斐教育長 ただいまの説明につきましてご質問等はございませんか。それでは、（9）4月～5月の教育委員会行事予定につきましてお願いいたします。

岡田部長 ～資料34ページ説明～

ここには書いてございませんが追加でお願いしたいのですが、5月30日火曜日、13時30分からが次回の教育委員会定例会でございます。説明は以上でございます。

甲斐教育長 はい、ありがとうございます。ただいまの説明につきましてご質問はありませんか。それでは(10)その他に移ります。その他は2点ございます。まず1点目、国際交流派遣事業の見通しについてお願いいたします。

江川課長 それでは、私の方から令和5年度の国際交流派遣事業についてご説明をさせていただきます。お手元に資料はございませんので、口頭での説明となります。委員ご承知の通り、アメリカ合衆国のケリーミドルスクール、また、中国の紹興市の文理学院附属中学校への派遣事業につきましては、コロナ禍におきまして、オンラインや手紙での交流が継続していたものの、派遣事業は中止となっていたわけでございます。令和5年度につきましては、本年度はコロナ前のように派遣ができる見通しがたちましたので、本年度もアメリカ合衆国のケリーミドルにつきましては11月5日から11月14日までの10日間を予定しております。中国は例年通り、年明けた3月に派遣をしたいと準備を進めているところでございます。ただし、アメリカ合衆国のケリーミドルスクールの派遣につきまして、例年中学2年生16名を派遣していたわけでございますけれども、先方さんとの調整をしてる段階でございますが、ちょうどユージンハイスクールが建て替えといったことが始まっています。小学校が中学校の校舎内に移転するという最中でございます。ちょうどこの時期が例年ですと一番派遣受け入れができる日取りであるのですけれども、ただ人数が今年はいったい事情もあって全体で生徒を6名に絞っていただきたいというような要望がございます。募集要項を作成した上で例年通り6月に募集の説明会に入っていくわけでございますけれども、6名の中で募集をかけたいと計画しております。さらにこの6名につきましても、これまでは中学2年生を対象に募集をしてきたわけでございますが、この数年コロナ禍で何もできなかったことも考慮して、総合的に判断しまして、募集の枠を2年生プラス3年生も対象にしたいなど事務方では考えてございます。どうしても6人という今までより10名ほど減ってしまう中で、やはり一次試験、二次試験という経過はこれまで同様にしていきたいと考えておりまして、募集の方法もその辺を若干変えて募集要項を作成し、進めていきたいと考えております。また具体的にカチッと決まりました時点で、委員さんに随時ご報告させていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。以上でございます。

甲斐教育長 はい、ありがとうございます。ただいまの説明につきまして、ご質問等はございませんでしょうか。きちんとした計画ができましたら、また相談をさせていただきたいと思えます。それでは、その他の2点目、部活動の地域移行の現状につきましてお願いいたします。

上木補佐 部活動の地域移行につきまして、この3月と4月に保護者説明会や実際モデルとして動いている部活動がありますので、その報告をさせていただきます。3月から4月にかけて、地域移行に関する保護者説明会という形で行っておりまして、説明会につきましては、今年度地域移行のモデルの部活動となる保護者と、モデルの部活動とならない保護者に分けて行っております。保護者の方からは、中体連の大会参加はどうなるのかとか、地域移行をした後のクラブとして出られるのかどうかとか、練習試合はどうするのか、調整は誰が行ってくれるのかとか、平日も練習したい場合はバスが出ないのか、など様々なご意見やご質問をいただいております。その場でお答えできなかった質問とかもあつたんですけれども、頂いたご質問やご意見は今後の地域移行の取り組みに生かしていきたいと思えますし、今後も引き続きアンケートを実施するなどをしまして、保護者や生

徒の意見を聞いていきたいという風に考えています。また、この4月からは実際にモデルとなる部活動が7種目あるんですが、その部活動につきまして、早いところは4月15日の土曜日から学校の先生がつかない、顧問の先生がつかない形で、地域の指導者のもと活動を始めています。特に大きな混乱は今のところないんですけども、どちらかという指導者の方がちょっと不慣れな部分もあったりしまして、また指導者のそういったご意見を聞きながらフォローできるところはフォローして、地域移行を徐々に進めていきたいと思っております。以上でございます。

甲斐教育長 はい、ありがとうございます。只今の説明につきましてご質問はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

甲斐教育長 それでは9番その他に移ります。歌舞伎立ち回りの教室についてお願いいたします。

江川課長 それでは最後に、ご紹介という形でさせていただきます。お手元にクリップ止めで閉じてある資料をご覧ください。アフレアのオープン記念事業という位置づけで前進座のワークショップ「歌舞伎 立ち回り教室」というのを開催することになりました。日にちは6月2日の金曜日で、会場はアフレアの1階のアフレアホールというところを使いまして行うことになっております。午前の部では、北潟小学校の4年生と本荘小学校の5年生、合わせまして39名、午後の部は細呂木小学校と伊井小学校の5・6年生で合計53名。合わせまして92名の生徒さんが参加をすることになりまして、外部からも見学ができると思いますので、委員の皆様はお時間がございましたら是非ご覧になっていただけたらなと思っております。歌舞伎のこういう型をこの写真にある通り教えていただきまして、文化に触れていただくというのが趣旨でございます。また、講師につきまして、この写真にございます中島宏太郎さんは、あわら市の船津温泉区の出身の前進座の俳優さんでございます。合計3人の方に講師としてお越しいただくということになっております。ご紹介という形で紹介させていただきました。また2枚目につきましては、中島宏太郎さんがお持ちになった資料でございますので、またご自宅でご覧になっていただければなと思っております。以上でございます。

甲斐教育長 はい、ありがとうございます。ただいまの説明につきましてご質問はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。当日はアフレアが会場ですので、見学もできると思いますので、ご出席いただきたいと思います。それでは、他にその他、委員の方々からございませんでしょうか。

坂井委員 2点教えてください。1つは、机を新しくされたと思うのですが、使っていて子どもたちはどんな様子かなということ、もう1つはマラソン大会が今ちょっとできないのかなと思うんですけども、これから学校として、マラソン大会をどういう風に位置づけていくのか、もう完全にやめてしまうのか、そのあたりをちょっとわかっていたら教えてください。

江川課長 まず1点目の新しく机を導入しました中学校について、令和4年度事業で全部の学年に入れたのですが、報道機関も取材に来ていただきまして、テレビ放送もしていただいたんですが、児童生徒さんのインタビューもさていて、やっぱり広がってきれいになったということをおっしゃっていました。縦横10センチずつ広がったので、非常に使いやすいということは、テレビの前ではおっしゃっていました。この机を大きくした理由は、老朽化した机の入れ替えということもありますけれども、やはり国が進めているGI GAスクール構想の一環という一面もございますので、本年度は小学校の高学年に導入を予

定しております、秋休みを目途に入れ替えをしてきたいと考えております。また、低学年につきましては、来年度を予定という形で計画をしております。

常廣審議監 マラソン大会ですけれども、小学校の方は随時やっていくということで、結構盛んに取り組んでおります。中学校は今トリムマラソンも自由参加ということになりましたので、参加人数は少ないのですけれども、これからどんどん増えていくのではないかなという気もしています。以上です。

宮川委員 私もちよっと小耳に挟んだんですけれども、金津小学校の今年の運動会が6月に開催されるというのを聞きまして、これはやっぱり秋の150周年記念事業の兼ね合いなのではないでしょうか。それと、コロナ前に金津小学校は伝統的に5・6年生の組体操というのが運動会で行われていたと思うんですけれども、これは今後小学校の方で決めることなのかもしれないけれども、保護者の方からはもう組体操はなくなっちゃうのかしらという声がちらほらとでています。しかも6月に運動会となると、今までですと夏休みの期間に練習に行っていましたけれども、今後もし6月に定着してしまいますと、組体操はなくなってしまうのでしょうかというようなご質問をいただいたので、もし何か決まっているようでしたら教えていただけますか。

常廣審議監 はい、お答えいたします。6月への移行は今までの9月ですと非常に暑くて、準備から熱中症が非常に心配だったというので、そこを解消するために6月の方へ持って行ったという経緯があるようです。その中で組体操をどうするかというのは私も把握しておりませんので、また学校に問い合わせしてみようと思います。

甲斐教育長 他にございますでしょうか。

玉川委員 先ほど聞き忘れたのですが、中学校の国際派遣で16名を6名に絞りますって言うんですけれど、それは仕方がないとしても、その6名を選ぶというのは非常に難しい作業になると思うんですね。例年16名を選ぶのでもかなり大変で、面接を僕らが担当していても甲乙つけがたい感じの子供さんをずらっと目にしながら選ばないといけないんですけども、ああいう従来のやり方じゃなくて、なにか新たな選考方法と言いますか、それはステップをもう一つ増やすとか、なにか工夫をしないと非常に選びにくいのではないのかなと。選びにくいと同時に、決まった子、決まらなかった子が納得できるような選考基準や方法がある程度決めておかないと、やりにくくなるのではないかなという気がしています。特に、応募動機を書いた紙とかを読んでいますと、どうもかなり手が入っているような感じで、皆さん変わりなく目的とか非常にしっかり書かれていて、差がつけられないんですね。それで面接の時にも6名ずつこう並んで話ししてもらっていても、最初に言った子と最後の子がほぼ同じような内容のことをずっと話しているとかいう状態になりますので、なにか上手い方法はないかなと思っています。まあこのICTの時代ですので、プレゼンテーションファイルを使わせるとか、作文を書かせるにしても、家に持って帰って書かせるんじゃないかと、現場でもって制限時間の中できちんと自分の能力で書くというようなことを考えていかなければいけないのかなという風に思いますので、その点を工夫していただけると助かると思います。

江川課長 はい、承知いたしました。二次試験は面接という風に計画しております、やはり今おっしゃったような懸案事項もございますので、一度の中身を検討させていただき、事務方の方で具体的に試験方法を考えていきたいと思っております。また、新たな手法で、いろんなアイディアがございましたら、本日以降もまた委員さんからご教示いただければなと思っています。よろしくお願いいたします。

甲斐教育長 他にございますでしょうか。無いようですので、以上で4月の教育委員会定例会を終わりたいと思います。次回は5月30日火曜日13時30分からということですので、よろしく願いいたします。

【閉会】

甲斐教育長 以上をもちまして4月の教育委員会定例会を閉会します。

上記のとおり会議の顛末を記し、これを証するために署名する。

令和5年4月27日

教育長

署名委員